

減災と創造的復興

～熊本地震の経験と教訓を踏まえて

平成29年

日時

2月10日(金)

13:00～17:00

場所

ホテル熊本テルサ テルサホール
熊本市中央区水前寺公園28-51

募集人員

500名(無料、先着順)

※事前にお申し込みが必要です。

阪神・淡路大震災を機に地震の活動期に入ったといわれる日本列島では、広域にわたる複合災害をもたらした東日本大震災、二度にわたり震度7を記録した熊本地震をはじめ大規模災害が多発しています。内陸直下の地震、海溝における地震やそれに伴う津波、火山噴火など、地殻変動は様々な脅威となって私たちに迫っています。

今こそ、発生が懸念される南海トラフ巨大地震や首都直下地震なども見据え、防災・減災に関する研究成果を広く発信し、大規模災害に対する備えや防災意識を高める必要があります。そして、人と自然との共生、安全安心を優先する“災後の文明”の創造へと歩みを進めていかなければなりません。

こうした認識のもと、地震や火山活動のリスクに対する理解を深めるとともに、熊本地震における復旧・復興の取り組みや課題を踏まえ、災害による被害を最小化し、時代を先取りした復旧・復興につなげるにはどうすべきか、今なお復興途上にある東日本大震災の経験も交えつつ発信するため、「21世紀文明シンポジウム」を開催します。

プログラム

基調
講演

「最近の地震火山活動と
熊本地震災害」

13:15
▼
14:00



平田 直

東京大学地震研究所地震
予知研究センター長・教授

基調
報告

「熊本地震への
対応と教訓」

14:00
▼
14:30



蒲島 郁夫

熊本県知事

現地レポート

14:30 ～ 15:00

東野 真和 (朝日新聞社編集委員)
浪床 敬子 (熊本日日新聞社社会部付編集委員)

主催：朝日新聞社・東北大学災害科学国際研究所・(公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構
共催：熊本日日新聞社

後援(予定)：内閣府政策統括官(防災担当)、復興庁、消防庁、兵庫県、熊本県、熊本市、関西広域連合、熊本大学、熊本県立大学

熊本地震に学ぶ一大規模災害への備えと復興のあり方

〈コーディネーター〉



御厨 貴

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構研究統括
東京大学名誉教授

〈パネリスト〉



今村 文彦

東北大学災害科学国際研究所所長
東北大学副理事 (震災復興推進担当)



松田 泰治

熊本大学減災型社会システム実践研究教育
センター長



蒲島 郁夫

熊本県知事



西村 博則

益城町長



柳原 志保

防災司団K-plus副代表

会場案内

ホテル熊本テルサ テルサホール
(熊本市中央区水前寺公園28-51)



〈アクセス〉

- JR熊本駅より市電で市立体育館前下車
徒歩10分
- 交通センター18番乗り場より日赤長嶺行き
熊本都市バスで熊本テルサ前下車すぐ
※公共交通機関をご利用ください。

お申し込み・お問い合わせ

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構 学術交流センター

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター東館6F
TEL078-262-5714 FAX078-262-5122 E-mail:gakujutsu@dri.ne.jp

■お申し込み方法

- E-mailの場合(宛先:gakujutsu@dri.ne.jp)
件名を「21世紀文明シンポジウム」として、①お名前②所属
③ご住所④お電話番号をご記入の上、送信してください。
- FAXまたは郵送の場合
参加申込書に必要事項を記入してお送りください。

お申し込みは**2月2日(木)**までをお願いします。

※お申し込みの方には、1月上旬より参加証をお送りしますので
当日ご持参ください。
※期日までに定員に達した場合は、(公財)ひょうご震災記念21
世紀研究機構のホームページ <http://www.hemri21.jp/>
にて告知します。

(公財) ひょうご震災記念21世紀研究機構宛

FAX 078-262-5122

21世紀文明シンポジウム 参加申込書

お名前	所属・団体等	連絡先
ふりがな		〒
		TEL _____ FAX _____
		E-mail _____

ご記入いただいた個人情報は、当機構が適正に管理するとともに、参加証の発送や当機構からの案内に関してのみ使用します。